

令和2年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



中 区

# 中区区づくり推進横浜市会議員会議

## 目 次

### 議 題

- 1 令和元年度中区個性ある区づくり推進費決算状況について……………P1
- 2 令和元年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績について……………P3
- 3 令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況について…P19
- 4 令和3年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方について……………P36
- 5 その他

令和元年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

予算区分	予算額(A)	決算額(B)	差引(A-B)	執行率
(1) 自主企画事業費	100,794,000	90,382,718	10,411,282	89.7%
(2) 統合事務事業費	52,062,000	52,845,344	△783,344	101.5%
(3) 区庁舎・区民利用 施設管理費	425,368,000	418,742,286	6,625,714	98.4%
合計	578,224,000	561,970,348	16,253,652	97.2%

2 内訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

施策	予算額(A)	決算額(B)	差引(A-B)	主な事業及び実施内容
1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり (8事業)	19,932	16,348	3,584	地域防災力向上事業 減災行動啓発、災害時担い手育成、防災訓練・災害対策の各事業を実施
				安全なまち・防犯対策推進事業 区民・事業者・警察・行政が一体となって地域特性に応じた防犯対策や、こども・高齢者向けの防犯対策を実施
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり (8事業)	21,641	18,814	2,827	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 第3期計画の周知と地域支援チームによる地域活動支援。第4期計画策定のための骨子を策定
				地域包括ケアシステム推進事業 高齢者の地域交流促進、介護予防活動推進、認知症介護者支援等を実施
				みんなで子育て事業 おでかけスポットマップの改訂や保育所等情報提供の実施など、地域での子育て支援を推進
3 多文化共生のまちづくり (2事業)	11,674	10,657	1,017	多文化共生推進事業 多言語広報紙の発行、外国語ホームページの運営、外国人人数基礎調査の実施
				多文化交流事業 なか国際交流ラウンジにおいて、外国人支援や地域支援を実施
4 地域の活力があふれるまちづくり (9事業)	27,879	19,761	8,118	まちづくり推進事業 都市計画マスタープラン中区プランの改定、大岡川周辺魅力向上の取組
				地域連携推進事業 本牧エリアの活性化に向けたヒアリング調査及びイベント活動支援を実施
				スポーツ・青少年事業 区内の小学生から高校生を対象としたダンスイベントを新規で実施
5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり (3事業)	19,668	24,803	△5,135	利用しやすい区役所づくり事業 総合案内機能の強化やスポットクーラーの設置による待合環境の改善等を実施
合計	100,794	90,383	10,411	

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

## (2) 統合事務事業費

(単位：千円)

事業区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
統合事務費	37,450	39,469	△ 2,019	
統合事業費	14,612	13,377	1,235	
統合事務事業費 合計	52,062	52,846	△ 784	

## (3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

事業区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
区庁舎・区民利用施設管理費	425,368	418,742	6,626	
区庁舎等管理費 (光熱水費等管理費を含む)	108,742	106,524	2,218	区庁舎(本館・別館)、中土木事務所、 区民活動センター
公会堂管理費 (光熱水費等管理費を含む)	31,001	28,440	2,561	開港記念会館
地区センター等管理費	101,002	101,006	△ 4	地区センター(3)、集会所(1)
ログハウス管理費	7,903	7,904	△ 1	こどもログハウス(1)
老人福祉センター等管理費	40,994	40,994	0	老人福祉センター(1)
コミュニティハウス管理費	70,059	70,747	△ 688	コミュニティハウス(6)
区スポーツセンター管理費	48,627	48,624	3	中スポーツセンター(1)
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,664	3,103	2,561	区庁舎等、区民利用施設の修繕
その他 (国際交流ラウンジ・遊び場)	11,376	11,400	△ 24	国際交流ラウンジ(1)、子どもの遊び 場(6)、町のほらっば(1)

## 《参考》

(単位：千円)

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
温暖化対策プラス事業	1,620	998	622	
区民利用施設照明LED化事業	1,620	998	622	

(単位：千円)

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
区局連携事業	669	377	292	
緊急時情報システム運用試行事業	669	377	292	

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

# 令和元年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績

## 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり ※下線が引かれている部分は、新型コロナウイルスの影響によるものです。

事業名		事業内容
1. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図りました。特に、地域防災拠点の機能強化については、発災時の円滑な拠点開設を目的とした「初動対応マニュアルセット」の製作を進めました。さらに、災害時の担い手育成として、「地域防災拠点支援ガイド」を中区内市立中学生全員に配布し、自助・共助の意識を醸成しました。また、本部の情報受伝達手段の拡充のため、タブレットの導入（6台）を始めました。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 地域及び企業等に対する減災支援（通年） 減災説明会、防災減災推進研修等（12団体、359人）</li> <li>イ 中区総合防災フェアの実施（産貿ホール、元年9月28日、約300人）</li> <li>ウ 防災・減災講演会（開港記念会館、元年11月30日、約200人）</li> <li>エ 地震・風水害対策等の啓発 即時避難勧告区域へポスティング（元年6月19日、450世帯）</li> </ul> <p>(2) 災害時の担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 防災出前教室（通年） 小中学校を対象に防災教育の出前教室を実施（5回、514人）</li> <li>イ 地域防災拠点支援ガイドを配布（約2,300部）</li> </ul> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 地域防災拠点の充実及び訓練の実施（全15拠点、7,567人）</li> <li>イ 情報受伝達訓練の実施（2年1月17日、100人）</li> <li>ウ 帰宅困難者対策訓練の実施（元町・中華街駅、元年11月13日、78人）</li> <li>エ 本部体制の充実及び災害対策（警戒本部設置13回）</li> <li>オ 各種会議等の開催（災害対策連絡協議会総会等 計5回）</li> </ul> <p>※予算残の理由 デジタル簡易無線の導入見直し及び、マリンFM関連経費の残</p>
予算額	8,218千円	
決算額	6,097千円	
差引	2,121千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心に、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、地域の特性に応じた防犯対策を推進しました。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 中区民暮らし安全推進協議会総会の開催（元年5月22日）</li> <li>イ 各種防犯キャンペーンの実施・参加 街頭犯罪抑止対策早朝駅頭キャンペーン（元年5月13日、10月11日） 安全・安心まちづくり旬間キャンペーン（元年10月11日～20日）</li> <li>ウ 地域自主防犯活動委員会の開催（各地区連防犯担当者会議） （元年5月15日、7月17日、9月18日、11月20日）</li> <li>エ ハローよこはま2019のブース出店（元年10月13日）【中止】</li> <li>オ 寄席de防犯～地域の安全・安心な生活を考える集い～【中止】 （2年2月25日 にぎわい座）新型コロナ拡大防止のため中止</li> <li>カ 4警察・4防犯協会/防犯協力会・区役所合同会議の開催 （元年7月30日、12月5日）</li> </ul> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信 Eメール配信登録者：1,488人（2年3月末）</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 防犯活動費等の支援や防犯活動物品の貸与等を実施。 対象：地区連合町内会、中区PTA連絡協議会、小学校等</p> <p>(4) 防犯教室事業 警察や民間企業と協働で開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア こども防犯教室の開催（小学校、保育園等）16回開催（1,076人）</li> <li>イ 高齢者防犯教室の開催（加賀町警察署）元年12月11日（37人）</li> </ul>
予算額	2,364千円	
決算額	2,240千円	
差引	124千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>放置自転車対策として街頭キャンペーンや監視啓発活動を実施し、また、警察や学校、地域等の関係団体と連携して交通安全啓発に取り組みました。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 地域からの要望エリアについて協議を行い、禁止区域の変更・拡大を行うとともに、啓発キャンペーン等を実施しました。</p> <p>ア 関内駅周辺禁止区域拡大：平成31年4月1日 イ 桜木町駅周辺禁止区域変更：2年3月協議会、6月1日変更 ウ 中華街で、地域と一体となって取り組んでいる「中華街をきれいな町にする会放置自転車啓発キャンペーン」の開催（年6回） エ イセザキモールの駐輪場設置・放置禁止区域の拡大に向けての協議や合同パトロール等を地域・関係団体と実施（年8回）</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 ア 中区交通安全対策協議会の活動支援、各季の全国交通安全運動キャンペーンを4警察署と連携して実施。 元年5月10日：春の中区キャンペーン（伊勢佐木町でのパレード等）ほか イ はまっ子交通安全教室・こどもポスターコンクール開催、スクールゾーン対策協議会の支援など、児童の交通安全対策を実施。 ウ 交通安全シルバーリーダーの活動支援や高齢者の交通安全教室など高齢者の交通安全対策を実施。 エ 自転車マナー啓発リーフレットを保育園に配布。</p>
予算額	1,578千円	<p>&lt;参考&gt;（道路局区配付予算）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放置自転車監視業務の実施</li> <li>・スケアードストレイト方式による交通安全教室の中学校での開催 元年12月16日、仲尾台中学校</li> </ul>
決算額	1,589千円	
差引	△11千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス（食べ残しや手つかず食品）の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みました。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 ア 区内のイベントや店頭啓発（17回）、環境学習（6回）、中区分別相談窓口（28回）で3R夢啓発活動を実施 イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化 小型家電、リユース文庫（2,136冊）、水銀含有製品回収（124個）等 ウ イベント等で出されるごみの分別徹底を促すため、ごみ箱を無料貸与する「中区イベント用ごみ箱貸出事業」を実施（13件）</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY 区民・事業者・ボランティア団体による清掃活動 （元年6月1日、520人）</p> <p>(3) 美化運動支援事業 まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援（19件）</p> <p>(4) まちの美化対策事業 ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ（7回、約560人）や、ごみの排出状況改善と不法投棄防止に向けた取組を実施 イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策を実施 ウ 外国人への啓発として分別講座（1回）・施設見学会の開催</p> <p>(5) 美化推進者表彰 まちの美化推進に貢献した個人10人、11団体へ区長感謝状贈呈 （3R夢推進大会は新型コロナ対策のため中止）</p> <p>(6) 温暖化対策事業 打ち水キャンペーン（2回）、打ち水用具の無料貸与を実施（2件）</p>
予算額	2,336千円	
決算額	1,836千円	
差引	500千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、中区は、協議会に対し、活動への補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を都市整備局、文化観光局、市民局と連携しながら行いました。</p> <p>また、まちの活性化には更なる活動の参画者・担い手を増やしてることが重要であるため、地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけでなくアーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川周辺の環境改善など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助  ア 防犯啓発活動イベント等の開催（防犯パトロール毎月ほか）  イ 地域防犯拠点の運営・管理  ウ 協議会定例会等の開催（総会1回、役員会9回、定例会9回）</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化  ア 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援  イ 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援  ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案  エ 地域活動に係る広報活動の支援（ホームページ運営、「まちづくりニュース」の編集、視察・記者対応補助等）</p>
予算額	2,000千円	
決算額	1,998千円	
差引	2千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
6. 花いっぱい明るい まち事業		<p>横浜を代表する観光地や繁華街を擁する中区では、不法投棄や違法駐輪等が課題となっています。そこで、これらの場所に区民（主に町内会、公園愛護会、ハマロードサポーター等）と協働で花壇やプランターを設置し花を植えることで、不法投棄等をされにくくするための環境整備に取り組みました。また、来街者へのおもてなしが求められる中、元年度は、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>の機運の向上、市民等へのPRを図るため、イベント対応型花壇として期間限定で開港広場公園に花壇を設置し、維持管理を行いました。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策  ア 花苗提供 1,998株  イ 花壇・プランター設置・維持管理 13か所  実施箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園、開港広場公園、鷺山公園、曙町  ウ 種まきイベント（春・秋） 5か所  実施箇所 錦保育園、山手保育園、不動下保育園、ばんびーな保育園、中華保育園  エ 花緑のカーテン設置 4か所  実施箇所 山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(2) 普及啓発  園芸講習会 2回（年）  概要 元年6月 愛護会マニュアル説明会  元年11月 野毛山動物園散策会</p> <p>(3) イベントおもてなし  イベント対応型花壇設置  （ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>）</p>
予算額	1,250千円	
決算額	1,213千円	
差引	37千円	
所管課	中土木事務所	

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>区民や中区を訪れる人々の安全で安心な食を実現するため、健康危機管理の強化に関する支援や食品衛生に関する正しい情報発信を行いました。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保</p> <p>ア 効果的・効率的な監視指導 監視指導件数：4,605件</p> <p>イ イベントでの食品提供に対する事前指導 事前指導件数(341件)</p> <p>ウ 外国語啓発チラシ配布 (ア) 食品監視票(中華街一斉用中国語版：168部) (イ) 食中毒予防啓発チラシ(中華街一斉用中国語版：168部) (ウ) 食品関係等啓発チラシ(タピオカ店一斉用中国語版：90部)</p> <p>(2) 食中毒・感染症予防対策</p> <p>ア 感染症対策指導者養成研修(2回：39人、元年10月)</p> <p>イ 食中毒・感染症拡大防止のための調査及び監視指導 食中毒発生・対応件数：8件 食中毒関連調査・有症苦情等対応：61件</p> <p>(3) 食の安全に関する情報発信</p> <p>ア 食品衛生講習会 食品取扱施設従事者を対象とした講習(40回、1,298人) (食品衛生法改正に伴うHACCPの導入支援講習を含む)</p> <p>イ 食の安全及び薬物乱用防止に関するパネル展(4回、庁舎内)</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン (ア) 飛鳥II船内探検キッズツアー(元年8月3日、31組62人) (イ) 食中毒予防パレード(イセザキモール、元年9月5日、300人) (ウ) ハローよこはまへの食品衛生ブースの出展(荒天のため中止)</p>
予算額	1,370千円	
決算額	798千円	
差引	572千円	
所管課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>飼い主のマナー不足に起因するペットによる事故や苦情が発生していることから、マナー向上のための啓発に継続的に取り組みました。</p> <p>また、地域防災拠点での災害時ペット対策の支援と啓発を行いました。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業</p> <p>適正飼育とマナー向上に関する啓発を推進しました。</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場での啓発(区獣医師会等と連携) 期間：平成31年4月4日～20日(6か所) 啓発実施者数：延べ約500人(注射頭数：531頭)</p> <p>イ イベント会場での啓発を実施(動物適正飼育推進員と連携) 元年9月(本牧山頂公園ハワイアンフェスタ)</p> <p>ウ 大規模公園等での巡回指導(施設管理者等と連携) 平成31年4月～2年3月(4か所、延べ14回)</p> <p>エ 犬の飼い方講習会(元年2月29日、21人) 高齢ペットの飼い方をテーマに啓発を実施 (講師：中区獣医師会、動物適正飼育推進員)</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業</p> <p>ア 地域防災拠点での検討取組支援 (ア) モデル拠点におけるペット対策の住民組織支援(1拠点) 拠点訓練におけるペット避難所開設の支援 (イ) 地域防災拠点運営委員会への助言・支援(2拠点) ペット同行避難の受入れ体制作りを支援</p> <p>イ 拠点訓練等における啓発(5回) パネルや避難グッズ等の資料展示、説明等を行いました。</p> <p>ウ ペット同行避難訓練の実施(1拠点) 飼い主に実際のペットを連れて来てもらい、避難シミュレーションを行いました。</p>
予算額	816千円	
決算額	577千円	
差引	239千円	
所管課	生活衛生課	

## 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業		<p>自分たちが暮らすまちを、それぞれの地域の個性や魅力が生きる、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちにするために、様々な主体が協働して中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を推進しました。</p> <p>(1) 第4期計画（3年度から7年度）の策定 3期計画の進捗状況及び課題を踏まえ、令和元年度区民意識調査の結果と福祉保健の関係者へのグループインタビュー（4回）の結果を反映し、計画骨子を策定しました。</p> <p>(2) 第3期計画の推進 学識者の助言により、地域福祉に関する課題の対応について推進会議等で検討することができ、計画の推進につながりました。 また、区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ職員で構成する地域支援チームに対する研修（元年7月4日、31日）を行い、地域との協働を進めることができるようチーム力の向上を図りました。</p> <p>(3) 地域福祉保健計画の周知 中なかいいネ！発表会（2年2月14日）の開催や中なかいいネ！通信の発行（4回）を通じて計画の更なる周知を行い、地域の担い手のモチベーションの維持・向上や、潜在的な地域の担い手の発掘につなげました。</p> <p>(4) 地域ケアプラザでの多文化交流の取組 なか国際交流ラウンジと連携し、外国人との交流が深まるよう地域ケアプラザで実施するイベント等の周知や当日の通訳を行いました。</p>
予算額	3,142千円	
決算額	3,016千円	
差引	126千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
2. 区民意識調査事業		<p>区政に対する区民の評価、ニーズやまちづくりの課題を把握し、区政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に平成20年度から概ね2～3年ごとに区民意識調査を実施してきました。</p> <p>今回は、「第4期中区地域福祉保健計画」、「中区多文化共生アクションプラン」の策定に向け、地域福祉、多文化共生を重要調査項目とし、外国人を含む18歳以上の区内居住者4,000人を対象に実施しました。</p> <p>調査結果については、庁内外関係部署への情報共有やデータ活用の啓発を実施しました。「第4期中区地域福祉保健計画」及び「中区多文化共生アクションプラン」の策定にも活用していきます。</p> <p><b>中区区民意識調査の概要</b></p> <p>(1) 調査項目数：48問</p> <p>(2) 調査対象：中区在住の18歳以上の区民4,000人 (内訳 日本国籍3,500人、外国籍500人) ※ 外国籍対象者には、英語・中国簡体字・やさしい日本語の調査票を送付</p> <p>(3) 調査期間：元年7月18日～8月9日</p> <p>(4) 回収結果：有効回収数1,325件 (内訳 日本国籍1,242件、外国籍83件) 有効回収率33.1%</p>
予算額	2,800千円	
決算額	2,603千円	
差引	197千円	
所管課	福祉保健課 区政推進課	

事業名		事業内容
3. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し、地域等と協働でウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開しました。</p> <p>(1) <b>健康ナビゲーション事業</b> 健康測定（体組成等）や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作りました。 ア 4か月児健康診査会場での健康測定実施（22回629人） イ 地域の会場やグループへの出前講座等（12回370人） ウ 保健活動推進員向け測定機器取扱研修（元年7月2日 30人） エ 可搬・印刷機能付き高精度体組成計の新規導入【拡充】</p> <p>(2) <b>てくてくウォーキング事業</b> 地域へ出向き、地域と協働でウォーキング講座等を開催しました（6回）</p> <p>(3) <b>中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21）</b> （ハローよこはまと同時開催）（元年10月13日）→台風のため中止。</p> <p>(4) <b>けんしん啓発事業【新規】</b> けんしん受診率の向上のため、新たに保健活動推進員等の関係団体と連携し、がん検診や特定健診の受診啓発を行いました。</p> <p>(5) <b>妊娠糖尿病対策事業【新規】</b> 18区に先駆け妊娠糖尿病の罹患者に対し健康教育を実施しました。（1回10人）</p> <p>(6) <b>食育推進事業</b> ア 食生活等改善推進員会やJA横浜等の関係団体や飲食店と連携し、乳幼児、学齢期、高齢者等を対象に年代別の個別食事相談や講座、イベントを開催しました。（元年6月13日食育マルシェ 228人） イ 食育の関係者向けの研修を開催（1回33人）するとともに、ネットワークを構築しました。（7団体11人）</p>
予算額	2,615千円	
決算額	1,847千円	
差引	768千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
4. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>平成30年3月作成の「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めました。</p> <p>(1) <b>高齢者の地域交流促進</b> 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援するほか、銭湯を会場とした寄席等を実施するなど、地域の交流・介護予防活動を支援しました。 ア 老人クラブ連合会の行事支援 イ 老人クラブへの加入促進（チラシ、エコバッグ作成等） ウ デイ銭湯事業（2回 ※コロナウィルスの影響で1回中止） エ 敬老月間事業（元年9月実施）</p> <p>(2) <b>介護予防事業</b> 平成30年度に作成した「中区版コグニサイズDVD」を講座等で活用するとともに、受講者が様々な場で実践できるよう、コグニサイズのプログラムを例示した啓発用手ぬぐいを元年6月に990枚作成しました。地域のイベント等で配布し、グループでの自主活動等に活用されました。</p> <p>(3) <b>認知症支援</b> 認知症高齢者等の介護者を効果的に支援し、あわせて認知症にやさしい地域づくりを行いました。 ア 介護者支援事業 ・臨床心理士相談（18回） ・地域包括支援センター職員向けの介護者支援研修の実施（3回） イ 認知症サポーター企業等の認証</p>
予算額	1,850千円	
決算額	1,637千円	
差引	213千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5. 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けることができるよう、区内の関係機関が連携して支援できる体制づくりに取り組みました。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図りました。 ア 自立支援協議会の開催（代表者会1回、合同担当者会2回、事務局会議12回、5部会1分科会1プロジェクト開催） イ 支援者向け研修会の開催（全7回：全体研修2回、部会研修5回）</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 協力商業施設等での定期販売や、ポレポレまつり等、区内で開催されるイベントでのポレポレグッズ（障害者作業所製品）販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援しました。 ア 販路拡大委員会（中区障害者団体連絡会）に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会の運営支援（6回） ウ ナカナ・カフェ運営委員会の運営支援（6回） エ 区役所内定期販売会の支援（12回）</p> <p>(3) 障害理解推進事業 障害者差別解消法の理念である「共生社会の実現」に向け、障害に対する理解を推進するため地域社会への働きかけを積極的に行いました。 ア 啓発用うちわを200本作成。地域のお祭りやラジオ体操、子供会に配布 イ 中区防災拠点訓練（山元小学校）で、出前講座（盲人体験講座、訓盲院の協力）を実施 ウ 防災拠点訓練参加者にポレポレグッズを配布</p> <p>(4) パラリンピアンによる啓発講演会 元年12月7日関内ホールで開催し93名の参加がありました。車椅子マラソン・全盲のピアニストの演奏の2部構成で行い、作業所の作品や作業所で作った食品販売を行いました。</p>
予算額	1,800千円	
決算額	1,799千円	
差引	1千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
6. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が、身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を生かして、地域での子育て支援を推進しました。</p> <p>(1) グランマ保育園 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行いました。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行いました。【3月休止】</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の充実 子ども連れで安心して楽しめるスポットをまとめた「おでかけスポットマップ」を引き続き発行しました。また、中国語版のマップを新たに作成し、発行しました。（日本語版：5,000部、中国語版：4,000部）</p> <p>(3) 外遊び応援事業 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間作りができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作りました。（4回、156人）【第5回（3月中止）】</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、地域ケアプラザ等で配布するとともに、開港記念会館で保育所等利用申請説明会を元年10月に開催し、利用申請の方法や各保育園の情報、様々な保育サービス、保育園での過ごし方等を紹介しました。</p> <p>&lt;参考&gt;（こども青少年局区配付予算） ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」（元年7月8日、132組） ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」（元年11月6日）</p> <p>※予算残の理由 おでかけスポットマップの作成経費の残及びグランマ保育園事業の一部休止による残</p>
予算額	4,161千円	
決算額	3,123千円	
差引	1,038千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
7. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てができるよう地域での見守り力づくりを推進しました。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供しました。</p> <p>(1) <b>地域の見守り力アップ事業</b> 児童虐待防止の親向け講演会（1回、62人）、関係者向け研修（2回、延113人）、スーパーバイザー活用の事例検討（4回、延74人）を実施しました。</p> <p>(2) <b>赤ちゃん学級</b> 第1子の養育者が子育てを安心してスタートできるよう、仲間づくりや子育ての知識を学ぶ教室を開催しました。（63回、延1,282人）【3月7回中止】</p> <p>(3) <b>乳幼児健診の充実</b> 乳幼児健診にきょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えました。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により受診勧奨を行いました。（乳幼児健診69回実施、未受診209件訪問）【3月3回中止】</p> <p>(4) <b>乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等</b> 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶ教室等を開催しました。（ベビーマッサージ5コース10回、延99人【3月1コース2回中止】、育児教室11回、延211人【3月1回中止】、発達障害児支援事業11回、延171人【3月1回中止】）</p> <p>(5) <b>ひとり親家庭に対する相談支援の充実</b> 児童扶養手当現況届の手續に来庁する機会をとらえて、生活状況の聞き取りや各種手續の支援をきめ細やかに行いました。</p> <p>(6) <b>学齢期家庭向け支援強化プログラム</b> 生活困窮や養育困難等のある家庭の児童自身が生活スキルを身につけるきっかけとなる体験会を実施しました。学校関係者向け研修を実施しました。（こども支援プログラム 小学生47人中学生15人、学校関係者向け研修39人参加）</p>
予算額	4,973千円	
決算額	4,371千円	
差引	602千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
8. 子ども食堂支援事業		<p>子どもの孤立を防ぎ、地域で子どもの成長を見守る場を増やすために、地域のボランティアが実施する「子ども食堂」が継続されるよう、中区社会福祉協議会と連携して支援しました。</p> <p>(1) <b>子ども食堂ネットワーク</b> 子ども食堂の活動者間の情報共有や子どもに関わる地域関係者との連携を推進するために、平成30年12月に中区社会福祉協議会と共に設立した子ども食堂ネットワーク連絡会（元年7月30日、11月9日、2年2月21日）を開催し、情報共有などを行い、活動を支援しました。</p> <p>(2) <b>子どもへの支援のための調査</b> 子どもの食を通じた地域交流のニーズなどを把握し、子ども食堂の活動者と情報を共有して今後の活動に生かしていくことを目的に、学校や学童保育などの子どもと関わる機関・団体にヒアリング調査を行いました。その調査結果をもとに、子どもの食に関する現状と子どもにとって多様な大人と食事をする場が必要であることを地域関係者に伝えるためのリーフレットを作成し、配布しました。</p> <p>(3) <b>研修会及び講演会の実施</b> 子ども食堂の活動者などを対象に、活動者が必要としている子どもへの対応方法や他都市で好事例となっている子ども食堂の活動に関する研修会を実施しました（元年11月9日、2年2月21日）。</p>
予算額	300千円	
決算額	418千円	
差引	△118千円	
所管課	福祉保健課 こども家庭支援課 生活支援課	

### 3 多文化共生のまちづくり

事業名		事業内容
1. 多文化共生推進事業		<p>人口の1割強を占める外国人住民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を伝えました。また、多文化共生の意識を区全体で共有し、多様な人が共に暮らす社会を実現するための取組を行いました。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業            ア 発行回数及び発行数            (ア) 「Naka Wawd Town News」(英語版) 4回 各4,200部            (イ) 「春夏秋冬」(中国語版) 4回 各4,300部            (ウ) 「中区多言語広報紙」(日本語版) 1回 1,000部(2年4月)            イ 特集内容            夏号(元年7月)家を借りる            秋号(元年10月)住民税            冬号(2年1月)日本の社会の仕組み            春号(2年4月)日本語がわからなくても一歩踏み出す</p> <p>(2) 外国語ホームページ運営事業            ア 言語: 英語、中国語、ハンデル、やさしい日本語            イ 回数: 月1回            ウ 内容: 広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等</p> <p>(3) アクションプラン事業            「中区外国人数基礎調査」を実施しました(元年8月)。前回(平成28年度)の調査項目を基に、経年変化を調査しました。</p>
予算額	4,270千円	
決算額	3,745千円	
差引	525千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めました。</p> <p>(1) 日本語が全くできない外国人のための日本語教室事業            ア 日本語教室開催(前期40人:元年5月~10月、後期41人:元年11月~2年3月)            イ 日本語教室受講者への119番通報体験・ごみ分別講習</p> <p>(2) 日本語ボランティア養成事業            (各ボランティア教室と連携)            ア 日本語ボランティアの養成            入門講座(全8回)            ブラッシュアップ講座・ボランティア勉強会(各2回)            イ ボランティア日本語教室連絡会の開催(元年6月、12月)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業            ア 多文化フェスタ開催(元年9月29日・開港記念会館)            イ 多文化理解講座等の実施(新型コロナ対策のため中止)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業            ア 自治会・町内会イベント等での通訳協力(46人)            イ 地域が発行するチラシや案内文等の翻訳実施(20件)</p> <p>(5) 情報収集・調査等            ホームページ等を活用した情報発信</p> <p>(6) 地域連携・人材育成事業            地域にヒアリング等を行い地域との連携を図りました。また、外国人ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所を作るとともに、ボランティア育成研修等を実施しました。(79回)</p> <p>(7) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施            各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施(55件)</p> <p>(8) その他運営・事務費等</p>
予算額	7,404千円	
決算額	6,911千円	
差引	493千円	
所管課	地域振興課	

## 4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたい魅力ある中区の実現を目指してまちづくりを進めました。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行いました。また、元年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めました。</p> <p>(1) まちづくり対応事業</p> <p>ア 今後のまちづくりの基本方針となる横浜市都市計画マスタープラン中区プラン改定原案を作成し、改定原案に対する市民意見募集でいただいた意見をもとに、改定案を作成、都市計画審議会に諮問、2年3月に改定中区プランを告示し、公表しました。</p> <p>イ 地域団体等と連携し、若年世代が地域の魅力に触れ、地域活動を行うためのきっかけづくりとして、まちあるき、水上アクティビティ体験等を実施しました。 (元年6月9日、8月22日、9月8日、10月6日、10月19日)</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業</p> <p>地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援を行いました。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業</p> <p>「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第6版を増刷しました(30,000部)。また、大規模スポーツイベント等で訪れる外国人の来街者に向け、第6版の内容を外国語(英語、中国語、ハンダ語)に翻訳し、ウェブ上で公開しました。</p>
予算額	3,974千円	
決算額	3,482千円	
差引	492千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. 地域連携推進事業		<p>本牧エリアでは、情報発信型コミュニティカフェ「HOMMOKU BASE」のオープン(平成30年3月)や「本牧ハワイアンフェスタ」開催(平成30年9月)、「横浜マリンFM」の開局(元年8月26日)など、地域が主体となった取組が広がっています。</p> <p>このような機運を地域活性化のチャンスととらえ、地域の様々な背景をもった組織・団体・地域の人々が連携し、本牧全体で活性化に向けた取組が行える環境(プラットフォーム)づくりを支援しました。</p> <p>(1) ヒアリング調査</p> <p>本牧エリアの魅力や将来像、課題についてヒアリングをしました。</p> <p>ア ヒアリング件数：20件、23人</p> <p>イ ヒアリング結果の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動・人材・資源に関する情報を、集約・発信する機能が必要</li> <li>・それぞれの取組(テーマ)をつなげる「緩やかなつながり」が望ましい</li> <li>・中区の他のエリアとは異なる、本牧の個性・特性を意識することが重要</li> </ul> <p>(2) 地域行事調査</p> <p>本牧エリアで実施している行事等を調査し、基礎資料を作成しました。</p> <p>(3) 地域活動支援</p> <p>本牧エリアで地域活動を行っている団体等の活動支援として、本牧ハワイアンフェスタの開催に協力しました。</p> <p>実施日：元年9月15日(日)</p> <p>場所：本牧山頂公園(観山広場)</p>
予算額	2,000千円	
決算額	1,001千円	
差引	999千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めました。また、加入率の維持・向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援しました。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 中区防災フェア等のイベントでの転入者への町内会チラシや加入申込ハガキの配布など、加入促進キャンペーンを実施しました。また、新規建築マンション・未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援しました。 地域ごとの状況把握を行い、自治会町内会加入促進に活用するため、自治会町内会区域図及び地区情報カルテを作成しました。</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供に寄与する掲示板の整備を支援することを目的に、その経費の一部を補助しました。 補助件数：39件 (新設2件、更新8件、修繕28件、ふれあい伝言板の撤去1件)</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長に感謝の意を表すため、永年勤続の会長に対し、表彰を行いました。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため表彰状・記念品贈呈のみ実施) 受賞者数：7名</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 自治会町内会実務担当者向け研修会の開催、自治会町内会と行政との連絡調整(区連会定例会運営等)及び補助金交付事務(補助制度や申請方法の説明)等を通じ、自治会町内会の活動を支援しました。</p> <p>※予算残の理由 地区情報カルテの入札不調による残及び自治会町内会感謝会中止による残</p>
予算額	6,843千円	
決算額	3,843千円	
差引	3,000千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行いました。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業 ア 商店街紹介ホームページの更新 中区ホームページに、商店街PR動画を掲載しました。 イ その他情報発信 ・野毛エリア商店街のPR動画作成、YouTubeへの掲載 (宮川町商栄会協同組合、野毛商店街協同組合、日ノ出町駅前商店会、桜木町びおシティ商店会) ・商店街PR用のぼり旗の作成</p> <p>(2) よこはまウォーキングポイントと連携したPRの実施 よこはまウォーキングポイントの歩数計アプリのミッション機能を利用したイベントを「野毛エリア」で開催しました。 4商店街(宮川町商栄会協同組合、野毛商店街協同組合、日ノ出町駅前商店会、桜木町びおシティ商店会)19店舗が参加しました。</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店【中止】 台風19号による影響のため、中止となりました。</p> <p>(4) 商店街連携モデル事業 商店街と小学校が連携したイベント「小学生の商店街お仕事体験」を商店街で実施することで、地域をあげて盛り上げました。 ・元年11月5日、7日、8日、大鳥小学校3年生95人を対象に実施(本郷町商栄会、本牧リボンファンストリート商店会、本牧一丁目東商友会)</p> <p>&lt;参考&gt;(経済局区配付予算) ・商店街活性化イベント事業(商店街実施イベントに対する補助金) ・交付団体：24団体</p>
予算額	1,700千円	
決算額	945千円	
差引	755千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、スポーツ推進連絡協議会や青少年指導員協議会等の関連団体と連携して事業展開しました。また、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みました。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業</p> <p>ア 区体育協会活動支援 スポーツの区民大会開催支援、団体の自立的運営の補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 (ア) 中区ラジオ体操推進事業【拡充】 指導者講習会の開催、指導員派遣、指導員資格の取得促進 (イ) 中区ランニングクリニック事業 講師による走り方やレースのポイント等の指導（3回）</p> <p>ウ 大規模スポーツイベントを契機とした関連事業【新規】 ラグビー発祥の地であるYC&amp;ACを会場としたラグビー教室開催</p> <p>(2) 青少年育成事業</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ、ENEOSキッズフットサル大会の開催</p> <p>(3) ウォークラリー推進事業 青少年指導員・スポーツ推進委員が主体で開催（77組248名参加）</p> <p>(4) 中区ジュニアダンスステージ事業【新規】 小学生～高校生を対象としたオールジャンルのダンス大会を開催 （元年12月1日 関内ホールで実施 10チーム63名参加）</p> <p>&lt;参考&gt;市民局区配付予算（RWC2019、東京2020大会） ・小学生ラグビー教室実施、五郎丸選手をゲストに迎え講演会を開催 ・東京2020大会関係スタンプラリーの実施、大会1年前イベント実施</p>
予算額	4,667千円	
決算額	3,751千円	
差引	916千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的に、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活躍する人材の発掘を促進します。また、地域団体や民間事業者等で構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進するとともに、横浜市民読書活動推進目標更新に伴い、中区読書活動推進目標を更新します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り（中止）、登録団体との連携講座、中区民利用施設スタンプラリー（元年8月20日～9月30日）、街の先生活用事業</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行（隔月発行）、街の先生ガイド発行（2年4月） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）等</p> <p>(2) 区民活動スタートアップ支援事業 自立的な活動支援のため、活動初期の2団体の事業に対し補助金交付</p> <p>(3) 生涯学習事業 本牧地域で活動するボランティア影絵劇団養成講座、街歩き講座 「中区タウンピクニック」等を実施</p> <p>(4) 文化活動支援事業 特別協力の3事業実施のほか、共催・後援事業の支援</p> <p>(5) 読書活動推進事業</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会（年3回）及び「なか区ブックフェスタ」（元年10月～11月）の開催</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展（中止） 読書関連イベントの開催（元年10月～11月）</p>
予算額	2,500千円	
決算額	1,793千円	
差引	707千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組みました。</p> <p>(1) 見学者向けリーフレットの配布 施設見学者向けに多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）のリーフレットを配布しました。</p> <p>※ 年間見学者数 9,035人（平成31年4月～2年2月）</p> <p>(2) 三塔の日イベント開催（2年3月8日予定 ⇒ 中止） 例年、横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館（ジャック）、横浜税関（クイーン）、神奈川県庁（キング）で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>&lt;参考&gt; ・開港記念会館保存活用検討事業（市民局） 市民の貴重な文化資源である観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し、施設の魅力向上を図るため、躯体の現況調査を実施するとともに保存活用の内容を検討しています。元年度は、保存活用改修工事に係る基本設計業務において、バリアフリー対応及び地下階の利活用について協議をしました。</p>
予算額	1,760千円	
決算額	879千円	
差引	881千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
8. ハローよこはま 2019		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表の機会創出」を目的に開催している、中区民祭り「ハローよこはま」ですが、「ハローよこはま2019」は、大型の台風接近の予報を受け、来場者・出店者・出演者等の安全面を考慮し、順延を含めて開催を中止としました。</p> <p>【実績（中止）】※実施前の確定事項を記載  (1) 日時：元年10月13日（日）午前10時～午後4時  (2) 会場：横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク  (3) 参加申込団体：122団体（出店者94団体、出演者28団体）  (4) ブース出店：112ブース  (5) ステージ出演：28団体（3ステージ合計）</p> <p>※ 開催中止に伴う事業費等について  中区の補助金については、開催中止が決まった時点で、執行が確定していた費用の一部（設置する看板等の製作費用、会場設営・警備のキャンセル費用、ポスター・チラシ製作等の広報費用など）に充当しました。</p>
予算額	2,925千円	
決算額	2,925千円	
差引	0千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
9. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげました。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市：友好交流協定（平成26年3月締結）  ア 協議会発足5周年を記念した「ダイナミック周年事業」として、飯能市に新設されたムーミンバレーパークへのツアーを実施  （実施日：元年11月24日、参加者：中区在住・在勤者 120名）。  イ 両市の往来促進のため、フォトコンテストを実施（元年9月～12月）。中区民は飯能市、飯能市民は中区にて撮影（応募件数46件）。</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定（平成28年2月締結）  ア イベントへの相互参加  （ア）つまごい祭り（元年7月27日）  （イ）ハローよこはま（元年10月13日台風のため中止）  （ウ）三塔の日イベント（2年3月8日 コロナの関係で中止）</p> <p>(3) 岩手県釜石市：友好交流協定（平成26年3月締結）  中区職員によるボランティア活動の実施（元年11月22日～23日：9名参加）  11月22日：釜石市担当者より講義及び現地視察（東日本大震災の対応）  11月23日：台風19号の被害を受けた住宅の復旧作業</p> <p>(4) 仁川広域市中区：友好交流協定（平成22年3月締結）  【中止】仁川広域市中区保健所長一行による横浜市中区訪問（元年7月）</p>
予算額	1,510千円	
決算額	1,142千円	
差引	368千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

## 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1. 人材育成推進事業		<p>市民の視点に立った行政サービスの提供を行うため、職員の区民サービスへの意識向上を図りました。</p> <p>(1) <b>CS向上事業・ES向上事業</b>            各課長をリーダーに、係長、職員がサブリーダーとなり職場内でCS向上の取組を推進するとともに、職員参加型プロジェクトの実施や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上(ES向上)を図りました。            ア CS向上事業 サブリーダー研修実施(元年8月28日、9月12日) 中間モニタリング(元年9月、10月、2年2月) 最終報告会(2年2月28日) 外国語サポーター(8名 4か国語対応)            イ ES向上事業 プロジェクト募集(元年5月14日) 中間報告(元年10月) 最終報告(2年2月) 8プロジェクト、76人活動</p> <p>(2) <b>人権啓発事業</b>            人権が尊重される社会を目指し、区民や区内企業を対象にした人権啓発講演会を開催しました。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施しました。            ア 区民・区内企業対象の人権啓発講演会(元年12月7日) 障害理解推進イベントと合同で実施            テーマ「出会う つながる 今日から私にできること」(93人)            イ 責任職及び職員対象の人権啓発研修(元年6月～2年2月)</p>
予算額	1,140千円	
決算額	750千円	
差引	390千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 利用しやすい区役所づくり事業		<p>区庁舎本館は竣工から30年以上経過し、現在の公共施設へのニーズに対応できていない部分があることから必要な改修等を行い、利用者環境の改善を図ります。また、地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与できるよう本館エントランス周辺や外構等を改修し、魅力的な区庁舎づくりに取り組みます。</p> <p>(1) <b>利用者環境等の改善</b>            ア 警備等業務委託(通年)            安心できる庁舎環境づくりのため警備員を配置            ※ 別途配置している総合案内窓口のスタッフと連携して、来庁者への窓口案内等も実施            イ 区庁舎駐輪場の誘導等業務委託(2年1月～3月)            区庁舎前の歩道整備に合わせて、駐輪誘導スタッフを配置            ウ 庁舎改善委託等            2階へのスポットクーラー設置(元年7月～9月)            エ 新型コロナウイルス感染症予防対策            来庁者用アルコール消毒器の設置等</p> <p>(2) <b>シビックプライドの持てる区庁舎づくり</b>            地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与し、街のランドマークとして区民が親しみや誇りを持てる魅力的な区庁舎づくりのための改修を実施します。            ア 本館改修工事に伴う実施設計            本館エントランス・外構等改修に係る実施設計            イ 総合案内の受付カウンター更新・移設            本館改修工事に向け、受付カウンターを更新し移設</p>
予算額	12,394千円	
決算額	20,901千円	
差引	△8,507千円	※予算超過の理由 総合案内受付カウンター移設及び駐輪誘導スタッフ配置による委託費の増
所管課	総務課	

事業名	事業内容
<b>3. 広報・案内事業</b>	<p>中区ウェブサイト及び区政情報ツイッターにより、区民に行政情報や地域の情報を適時・適切に提供しました。また、市民からの提案や地域・団体からの要望を受け付け、市政運営の改善につなげました。</p> <p>昨年度まで警備員が対応していた1F総合案内に受付専任職員を配置し、わかりやすい窓口案内サービスを提供しました。</p> <p>(1) 広報事業  ア 区ホームページでの区政情報発信  イ ツイッターによるイベント情報等の発信（年間発信件数：266件）  ウ マスコットキャラクター「スウィングー」によるプロモーション活動（着ぐるみ貸出件数：18件）  エ 庁内職員のための広報研修（出席者：25人）</p> <p>(2) 広聴事業  ア 市民からの提案受付件数 856件（全18区中1位）  イ その他団体からの陳情 区長陳情2件</p> <p>(3) 広報相談係運営事業  1F総合案内に受付専任の派遣社員を配置  （案内実績：1カ月平均 3,927件、1日平均 179件）</p>
<b>予算額</b>	6,134千円
<b>決算額</b>	3,152千円
<b>差引</b>	2,982千円
<b>所管課</b>	区政推進課
※予算残の理由 1F総合案内派遣契約について入札の残	

# 令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況

## 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり ※下線が引かれている部分は、新型コロナウイルスの影響によるものです。

事業名		事業内容
1. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。区民の自助・互助の意識醸成のため、コミュニティFM（マリンFM）を活用した防災情報発信等に取り組みます。また、地域防災拠点において、女性視点や多様なニーズに対応し、誰でも拠点開設・運営ができるよう、備蓄品等の整備を進めます。あわせて、本部機能充実のため、タブレット等を活用した情報受伝達手段の充実を図っていきます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業 (2,960千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 地域及び企業等に対する減災支援（防災まち歩き、減災説明会）</li> <li>イ 中区総合防災フェア（12月12日 大棧橋ホール）</li> <li>ウ 絆月間における防災・減災講演会（3年3月）</li> <li>エ 地震・風水害対策等の啓発 マリンFMを活用した防災情報等の発信「中区防災通信」（毎月第2・4水曜日）【新規】（実績：4月～8月、10回実施）</li> </ul> <p>(2) 災害時の担い手育成事業 (150千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 防災出前教室（減災出前講座、防災体験教室） 中学生に「地域防災拠点支援ガイド」（配布済）を活用した啓発</li> <li>イ 救助資機材取扱研修</li> </ul> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業 (4,001千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 外部講師を招いた本部運営訓練</li> <li>(イ) 情報受伝達訓練の実施（3年1月）</li> <li>(ウ) 帰宅困難者対策訓練の実施</li> </ul> </li> <li>イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 地域防災拠点及び風水害時避難場所等の設備充実のため災害用エアマット等を導入（8月に配備完了）</li> <li>(イ) タブレットやスマートフォン等を活用した情報受伝達手段の多重化</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;参考&gt;津波警報伝達システム（防災スピーカー）を活用した情報発信を継続</p>
予算額	7,111千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策の推進について、新型コロナウイルスの収束状況を鑑みながら、検討・実施していきます。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円)</p> <p>中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 総会の開催（5月・書面表決での開催）</li> <li>イ 各種防犯キャンペーンの実施（5月、10月）※5月は中止</li> <li>ウ ハローよこはまへの出店（10月）【中止】 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催中止が決定</li> <li>エ 「寄席de防犯」の開催（3年2月）</li> <li>オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催（年5回）※第1回は中止</li> </ul> <p>(2) 防犯情報配信事業</p> <p>各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはまなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等</li> <li>イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校（4月に新1年生へ防犯ブザー貸与）</li> </ul> <p>(4) 防犯教室・講座事業 (427千円)</p> <p>地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
予算額	2,364千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故の対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円)  地域からの要望エリアについて協議を行い、禁止区域の変更・拡大を行うとともに、啓発キャンペーン等を実施します。  ア 桜木町駅周辺禁止区域変更：6月1日  イ 日本大通り駅自転車等放置防止推進協議会 設立総会：6月22日  ウ 各キャンペーンへの参加  エ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力  オ 放置自転車等移動要望への対応</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,428千円)  ア 中区交通安全対策協議会への支援  イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～)  ウ スクールゾーン対策の実施 (10月～)  エ 各団体への補助金交付 (5月～7月)  オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援  カ 交通安全教室・交通安全運動への協力  キ 高齢者及び自転車交通事故対策会議の開催 (年2～3回)  ク 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園に配布 (4月)</p> <p>&lt;参考&gt; (道路局区配付予算)  ・放置自転車等監視業務の実施  ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (11月)</p>
予算額	1,578千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス (食べ残しや手つかず食品) の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (228千円)  ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口  イ 庁舎内設置の資源回収BOX (小型家電、水銀含有製品等)、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化  ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY (590千円)  区民・事業者・ボランティア団体等による清掃活動 (10月～)</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円)  まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (650千円)  ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ (9月から6回) 等の実施  イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策  ウ 外国人向けの啓発 (チラシ作成、施設見学会、分別講座)</p> <p>(5) 美化推進者表彰 (350千円)  3R夢推進大会を開催し、まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈及び講演会を実施</p> <p>(6) 温暖化対策事業 (150千円)  打ち水キャンペーンや打ち水用具を無料貸与</p>
予算額	2,336千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業		<p>中区は、地域の環境浄化を進めるため、自主的な活動を行っている協議会に対して活動補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行っています。</p> <p>なお、都市整備局は、小規模店舗の借上げやまちづくりの推進、文化観光局は現代アートを通じた賑わいづくり、市民局は環境浄化・地域防犯力向上を目的とした活動の支援を行っており、中区は関係局と連携しながら取組を進めています。</p> <p>環境浄化が進む一方、新たな住民の増加により、過去の事実やまちの安全安心に対する認識が薄れる恐れもあり、予断を許さない状況です。まちの活性化には、更なる活動の参画者・担い手を増やしていくことが重要です。地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に係わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しています。このような活動に係る協議会等への支援も通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 (500千円)</p> <p>ア 各部会による活動の実施 (防犯パトロール毎月ほか)</p> <p>イ 地域防犯拠点の運用</p> <p>ウ 協議会定例会等の開催 (毎月)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <p>ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p>
予算額	2,000千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
6. 花いっぱい明るいまち事業		<p>本事業では、主にごみの不法投棄や違法駐輪が問題となっている場所に、区民(町内会、ハマロードサポーター、公園愛護会など)と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで不法投棄等をされにくくするための環境整備等に取り組みます。また、夏場の省エネ対策として、公共施設等に花緑のカーテンを設置し、緑化の普及啓発を行います。</p> <p>また、来年度のオリンピック・パラリンピックに向けて、開港広場公園で課題となっている違法駐輪等を改善するためのプランター花壇の設置や既存花壇の植栽整理を行います。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策 (550千円)</p> <p>ア 花苗提供 1,800株</p> <p>イ 花壇・プランター設置・維持管理 13か所</p> <p>実施予定箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園、山手駅、開港広場、鷺山公園</p> <p>ウ 種まきイベント(春・秋) 5か所 (春は種の配布のみ)</p> <p>実施予定箇所 錦保育園、山手保育園、不動下保育園、ばんびーな保育園、中華保育園</p> <p>エ 花緑のカーテン設置 4か所</p> <p>実施予定箇所 山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(2) 普及啓発 (50千円)</p> <p>ア 園芸講習会 2回(年)</p> <p>概要 6月(中止) 春季園芸講習会</p> <p>10月 秋季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(3) イベントおもてなし (650千円)</p> <p>ア イベント対応型花壇設置</p> <p>(違法駐輪改善プランター花壇設置:開港広場公園)</p>
予算額	1,250千円	
所管課	中土木事務所	

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効率的かつ効果的な監視指導の実施、従事者や消費者への衛生教育・情報発信の充実により、食中毒の発生・被害拡大を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業 (695千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的・効率的な監視指導 中華街や区内のホテル、宴会場、社会福祉施設等に対し、迅速検査を併用した監視指導や、多言語チラシを活用した啓発等を実施します。 (中華街一斉監視は新型コロナの影響により中止)</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 赤レンガ倉庫や大さん橋等で開催される食品が提供される大規模イベントの主催者や出店者に対し、衛生的取扱いの指導等を行います。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 保育園、高齢者施設等給食施設等に対し、ノロウイルス等による食中毒・感染症対策を中心に、啓発や助言を行い、衛生対策を支援します。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (510千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 食品取扱者に対し、食の安全や法改正に関する食品衛生講習会を開催し、市民向けには広報等により食中毒予防の注意喚起を行います。 (中華街一斉監視中止により中華街向け講習会を11月～12月に3回実施予定)</p> <p>イ パネル展等 区役所別館庁舎内で食中毒予防パネル展を実施している(6月～)ほか戸籍課広告モニターで食中毒予防動画を放映(6月～3年3月)しています。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 消費者を対象とした食中毒予防のイベントを区内協力店舗で開催します(8月～9月)。</p> <p>エ 新型コロナ感染防止対策啓発 区内飲食店等に対する感染防止対策の啓発を行います。 (啓発資料、ガイドライン等の郵送・配布：約2,700件)</p>
予算額	1,205千円	
所管課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育を啓発し、事故やトラブルを防止します。</p> <p>災害時のペット対策については、地域防災拠点の関係者を中心に災害時ペット対策の必要性を啓発し、特に飼い主に対しては日頃の準備を中心に啓発を実施します。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時のペット対策の検討やルール作りを支援します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (397千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、獣医師会と連携して、犬の飼主に啓発を実施します。(4月) (中止)</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者に啓発を実施します。(一部中止)</p> <p>ウ 放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携して、散歩中の飼い主に対して啓発、指導を実施します。(6月、1回実施)</p> <p>エ 飼い主向けの講習会を開催し、動物の適正な飼い方の知識の普及を行います。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (418千円)</p> <p>ア ペットの飼い主や防災拠点関係者等を対象に講習会を開催し、災害時ペット対策の普及を図ります。</p> <p>イ 各地域防災拠点の拠点訓練時に、災害時ペット対策に関する啓発を提案し、同行避難に関する展示やペット同行避難訓練の実施等を支援します。</p> <p>ウ ペット同行避難の検討活動のモデル拠点として取り組んだ大鳥小学校地域防災拠点や他の拠点での検討成果である同行避難のルールやペット受入態勢に必要な資材を、これから検討に取り組もうとする他の拠点の参考として活用できるように拡げていきます。</p>
予算額	815千円	
所管課	生活衛生課	

## 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業		<p>誰もが安心して暮らせるまちにするために、地域が主体となり、生活課題等の解決に取り組めるよう3年度から始まる第4期中区地域福祉保健計画を住民との協働で策定し、地域の福祉保健に関する活動を推進します。</p> <p>(1) 第4期計画(3年度から7年度)の策定(5,065千円)【拡充】</p> <p>ア 区域計画と地区別計画の策定 13地区それぞれの特色に応じた地区別計画と区内で共通する課題や地域と行政で協働で取り組む内容の区域計画を策定します。(3年6月予定)なお、区域計画は、区民意見募集を実施します。(11月)</p> <p>イ 計画冊子の作成 区民にわかりやすいデザインの全体版と地区別計画版を作成します。(3年6月予定)</p> <p>ウ 計画策定に住民参画を促す啓発 地域ケアプラザ等で地域活動を周知するパネルや計画策定をPRするグッズ等を作成します。また、国際交流ラウンジと連携して外国人に向けた周知をします。</p> <p>(2) 第3期計画の推進(1,379千円)</p> <p>ア 中なかいいネ！推進会議の運営 学識者の助言を得て、区推進会議(7月29・30日)や地区別推進会議を効果的に運営します。</p> <p>イ 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会、地域ケアプラザとの連携により、各地区の計画の取組を支援します。また、地域支援従事者向け研修を実施します。</p> <p>ウ 計画推進のための普及啓発 計画の推進状況を周知するための通信(7月)を発行します。また、のぼり旗等を作成し、地域活動を周知します。</p>
予算額	6,444千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
2. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し、地域等と協働でウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開します。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業(1,083千円) 体組成計や血管年齢測定等の健康測定機器を活用し、4か月健診に来庁する若い世代や、地域の中高年代をターゲットに出張講座を開催する等、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作ります。町内会等へのお出張講座には保健活動推進員の協力を得て実施します。保健活動推進員対象の健康測定機器取扱研修は、中止としました。</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業(220千円) 子育て支援拠点と連携した若い世代へのウォーキング啓発は、中止とし、保健活動推進員と協働で実施する地区ウォーキング等を開催します。</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21)(250千円) ハローよこはまの中止に伴い、中止としました。関係機関と連携し、健康増進に向けた啓発活動を実施します。</p> <p>(4) けんしん啓発事業(200千円) 保健活動推進員等の関係団体と連携し、がん検診や特定健診の受診啓発を行います。</p> <p>(5) 妊娠糖尿病対策事業(119千円) 妊娠糖尿病の罹患者に対する健康教育を7月は中止とし、12月は開催予定です。</p> <p>(6) 食育推進事業(1,032千円)【拡充】</p> <p>ア 年代別の個別食事相談や講座、食育イベントや講演会(兼食育従事者向け研修)は、6月分は中止としました。</p> <p>イ 食育従事者向け研修(兼講演会)、食育ネットワーク会議開催</p> <p>ウ 関係団体が共通で使用できる食育啓発グッズの作成</p>
予算額	2,904千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
3. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) <b>高齢者の地域交流促進 (1,188千円) 【拡充】</b>  老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援する他、銭湯を会場とした寄席等を実施するなど、地域の交流・介護予防活動を支援します。  ア 老人クラブ連合会の行事支援  イ 老人クラブへの加入促進 (新規にリーフレットとパネルを作成)  ウ デイ銭湯事業 (2回)  エ 敬老月間事業 (9月実施予定)</p> <p>(2) <b>介護予防事業 (220千円)</b>  普及啓発物品の作成をしました。今後イベント等で配布し、区民がコグニサイズ等の介護予防活動に取り組むきっかけづくりをしていきます。</p> <p>(3) <b>認知症支援 (580千円)</b>  認知症高齢者等の介護者を効果的に支援し、あわせて認知症にやさしい地域づくりを行います。  ア 介護者支援事業  ・臨床心理士相談 (18回)  ・地域包括支援センター職員向けの介護者支援研修の実施 (3回)  イ 認知症サポーター企業等の認証</p> <p>&lt;参考&gt; (健康福祉局区配付予算)  平成30年3月に策定した「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた中区行動指針」について、「第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に合わせ、より具体的な取組や指標を盛り込んだ「区アクションプラン」として見直します (4年度予定)。</p>
予算額	1,988千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
4. 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制を作ります。</p> <p>(1) <b>関係機関連携推進事業 (540千円)</b>  相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。  ア 自立支援協議会の開催 (事務局会議4回、相談支援部会2回、精神部会1回、グループホーム部会1回、発達障害部会1回、児童部会1回、災害時対応PJ3回、地域移行分科会1回)  イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催</p> <p>(2) <b>ポレポレグッズ推進事業 (150千円)</b>  ポレポレグッズ (障害者作業所製品) の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。  ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助 (補助金実施)  イ 販路拡大委員会 (7月30日)  ナカナ・カフェ運営委員会開催支援 (各6回) (4月15日)  ※4月8日より営業を一時休止。7月1日より時間を短縮して再開  ウ 区役所内定期販売会の支援 (12回) (4月～6月はコロナ禍で中止。7月より合同販売再開。7月31日、8月28日)</p> <p>(3) <b>障害理解推進事業 (270千円)</b>  「共生社会の実現」(障害者差別解消法)に向け障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。  ア 啓発用うちわ、チラシ等の作成及びイベント等での配布  イ 公共交通機関における啓発ポスターの掲示及び放映  ウ 地域の団体や地域防災拠点訓練での出前講座</p>
予算額	960千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を活かして、地域での子育て支援を推進します。学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援します。</p> <p>(1) <b>グランマ保育園 (2,525千円)</b> 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行います。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行います。【4月～6月休止】</p> <p>(2) <b>「おでかけスポットマップ」の作成 (1,344千円) 【拡充】</b> 「おでかけスポットマップ(日本語版)」を引き続き作成するほか、新たに専門ソフトを導入し、ホームページ上で多言語対応をします。</p> <p>(3) <b>外遊び応援事業 (100千円)</b> 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間づくりができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作ります。【第1・2回目(5・6月)中止】</p> <p>(4) <b>保護者向け保育所等情報提供 (339千円)</b> 利用申請の方法や各保育園の情報、様々な保育サービスを紹介する「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、地域ケアプラザ等で配布します。</p> <p>(5) <b>外国人向け両親教室等 (591千円) 【新規】</b> 外国につながる区民が安心して子育てできる環境づくりのため、在住者の多い、中国語を母語とする方向けの母親教室を2回実施します。</p> <p>&lt;参考&gt; (こども青少年局区配付予算) ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」(中止) ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」(中止)</p>
予算額	4,899千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
6. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てできるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) <b>地域の見守り力アップ事業 (281千円)</b> 児童虐待防止のため子育て中の親、関係者向けの講演会や支援者のスキルアップを目的としてスーパーバイズを活用した事例検討会を実施します。【講演会中止、事例検討会3月に延期】</p> <p>(2) <b>赤ちゃん学級 (432千円)</b> 初めての子育てを安心してスタートできるよう、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催します。【4月～6月16回中止】</p> <p>(3) <b>乳幼児健診の充実 (1,796千円)</b> 乳幼児健診について、きょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。【4月～6月18回中止】</p> <p>(4) <b>乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等 (530千円)</b> 支援が必要な乳幼児の養育者が具体的な育児方法を学ぶ教室を開催します。【ベビーマッサージ5月1コース2回、発達障害児支援事業4月～6月3回中止】</p> <p>(5) <b>ひとり親家庭等に対する相談支援の強化 (1,479千円) 【拡充】</b> ひとり親家庭及び障害児業務の手續に来庁する機会をとらえて、きめ細やかに生活状況を聞き取り課題やニーズに沿った支援を行うなど相談支援体制を強化します。</p> <p>(6) <b>学齢期家庭向け支援強化プログラム (1,002千円)</b> 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が、生活スキルを身につけるきっかけとなるプログラムを実施します。</p> <p>&lt;参考&gt; 児童虐待対策において地域関係機関連携の要となる要保護児童対策地域協議会実務者会議、区と児童相談所による要保護児童等進行管理台帳登載ケースの支援方針等の検討を定期的実施しています。</p>
予算額	5,520千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
7. 子ども食堂支援事業		<p>子どもの孤立を防ぎ、地域で子どもの成長を見守る場を増やすために子ども食堂ネットワークを支援し、子ども食堂を地域や子どもに関わる機関等に周知していきます。</p> <p>(1) 子ども食堂ネットワーク連絡会 (70千円) 活動者間の情報共有と子どもに関わる地域関係者と連携を推進するために区社会福祉協議会とともに連絡会 (8月4日) を開催しました。</p> <p>(2) 子ども食堂の周知のためのリーフレット作成 (180千円) 子ども食堂の開催趣旨や活動内容を子どもと子どもに関わる地域関係者に周知する方法や媒体について子ども食堂ネットワークのメンバーと検討します。</p> <p>(3) 地域で子どもを見守る活動を増やすための講演会 (50千円) 子どもの孤立を防ぎ、地域で子どもを見守るための活動や子どもを含めた多世代交流の場が増えるよう区民向けの講演会を開催します。</p>
予算額	300千円	
所管課	福祉保健課 こども家庭支援課 生活支援課	

### 3 多文化共生のまちづくり

事業名	事業内容
1. 多文化情報発信事業	<p>人口の1割強を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信します。また、2年度から多言語広報紙の日本語版を新たに発行し、外国人住民が必要としている情報を日本人住民に共有することで、多文化共生への理解を深めます。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業 (2,721千円) 【拡充】</p> <p>ア 発行回数及び発行数</p> <p>(ア) 「Naka Wawd Town News」(英語版) 4回 各4,100部</p> <p>(イ) 「春夏秋冬」(中国語版) 4回 各4,400部</p> <p>(ウ) 「中区多言語広報紙」(日本語版) 4回 各1,000部</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で、夏号(7月)は休刊にしました。</p> <p>イ 内容: 中区在住の外国人住民に役立つ生活情報、行政情報等</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業 (1,080千円)</p> <p>ア 言語: 英語、中国語、ハングル、やさしい日本語</p> <p>イ 回数: 月1回</p> <p>ウ 内容: 広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等</p>
予 算 額	3,801千円
所 管 課	区政推進課

事業名	事業内容
2. 多文化共生 まちづくり事業 【新規】	<p>日本人、外国人双方が地域の一員として安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、多文化共生推進アクションプランの策定及び取組状況の振り返りを通じて、多文化共生まちづくりの情報発信・意識の醸成を図ります。また、外国人住民の居住実態や、生活意識・ニーズを把握し、多文化共生の取組・施策立案等の基礎資料として活用します。</p> <p>(1) アクションプラン事業 (300千円)</p> <p>引き続き多文化共生のための取組を進めるとともに、元年度に実施した外国人基礎調査や区民意識調査の結果等を踏まえ、次期アクションプランの策定を進めます。(3年3月策定)</p> <p>外国人住民が区役所の窓口で相談しやすくなるよう、1階総合案内に対話型翻訳機を導入しました。(6月)</p> <p>(2) 多文化共生調査事業 (2,200千円)</p> <p>ア 外国人基礎調査</p> <p>元年度調査結果をアクションプラン策定や政策立案の基礎資料として活用します。</p> <p>イ 外国人意識調査</p> <p>外国人住民を対象に新たに意識調査(居住実態、働き方、暮らしの満足度、区政への要望、地域でのつながり、心配ごと等)を実施(9月~10月)し、アクションプラン策定や政策立案の基礎資料として活用します。</p>
予 算 額	2,500千円
所 管 課	区政推進課

事業名		事業内容
3. 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、地域や外国人コミュニティ、各団体、学校等との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 (3,415千円) 【拡充】 2年度は対象地域を拡大してヒアリング等を行い、情報収集やボランティアの活躍の場の発掘など地域との連携を図ります。また、外国ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所を作るとともに、ボランティア育成研修等を実施します。</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 (1,580千円) ア 日本語教室開催 (6月～・60人程度) 日本語教室受講者へのごみ分別講習・防災講習等 イ 日本語ボランティア養成事業 (区内ボランティア教室と連携) 日本語ボランティアの入門講座 (全8回程度) ブラッシュアップ講座 (全4回程度) ウ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (年2回)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 (790千円) 関係機関や庁内部署と連携した多文化共生理解講座・研修の実施 (年8回以上)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 (800千円) 自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (415千円) 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (954千円)</p>
予算額	7,954千円	<p>&lt;参考&gt;ラウンジ地域連携強化事業として国際局から区配を受け、地域課題解決を図るためのコーディネーター配置等を実施 (5,000千円・地方創生推進交付金(国費))。</p>
所管課	地域振興課	

## 4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境、商業、港、観光、文化芸術、国際性など多様な魅力を有する横浜の中心であり、オリンピック開催等で更なる注目が集まります。安心して生活し、働き、訪れたいくなる中区の実現を目指したまちづくりを進めます。</p> <p>今後のまちづくりの基本方針となる改定「都市計画マスタープラン中区プラン」を区民と共有するとともに、区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行います。また、関内・関外エリアをはじめ、まちの回遊性の向上を目指した取組を進めます。</p> <p>(1) まちづくり対応事業 (2,020千円)            ア 中区プラン概要版(8月完成)を配架・配布し、広く市民に周知します。            イ 区民が「まち」や「川」など中区への愛着を深めるため、大岡川及び周辺地域を対象エリアとして、エリアの歴史や魅力を伝える取組を進めます。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業 (334千円)            ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援を実施します。            イ 地震火災対策として、関係局と連携し、燃えにくいまち・燃え広がらないまちの実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (900千円)【拡充】            まち歩きや小中学生の校外学習向けに配布している「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」について、新たな碑の設置やまちの開発状況を反映し、第7版を作成します。</p>
予算額	3,254千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. 地域連携推進事業		<p>本牧エリアにおいて連携した活動に地域主体で取り組むために、地域の活動や人材、資源に関する「地域情報」が地域間で共有され、地域間の緩やかなつながりを創出するための機能を構築します。</p> <p>(1) 地域情報の集約・発信拠点の仕組みづくりへの支援            ア 情報発信機能を持つ横浜マリンFMを活用した、地域情報を効果的に発信する仕組みづくり            イ 人材が集える場を持つコミュニティカフェHOMMOKU BASEを活用した地域情報を集約する仕組みづくり            ウ 地域課題の発掘や解決に向けた活動拠点となるよう支援            エ 若い人材の発掘・育成についての支援</p> <p>(2) 本牧というエリアの個性・特性を生かした地域主体の取組に対する支援</p> <p>&lt;参考&gt;過去に実施したヒアリング調査結果のまとめ            ・地域の活動・人材・資源に関する情報を、集約・発信する機能が必要            ・それぞれの取組(テーマ)をつなげる「緩やかなつながり」が望ましい            ・中区の他のエリアとは異なる、本牧の個性・特性を意識することが重要</p>
予算額	1,000千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めます。また、18区中17位となっている加入率（平成31年4月1日現在63.2%）の維持・向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進（338千円） 自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成支援、転入者への加入申込書の配布等、加入促進に取り組みます。また、新規建築マンション・未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業（1,600千円） 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会（860千円） 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、感謝会を開催します。また、永年勤続の会長に対し、市長表彰の報告及び区長表彰を行います。</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援（45千円） 自治会町内会実務担当者向け研修会（書面開催）、自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）及び補助金交付事務（補助制度の説明、申請方法等）等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p>
予算額	2,843千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業（900千円） 区内にある商店街の魅力を紹介する映像を作成して、区役所待合スペース、YouTube 等を活用したPRを行います。</p> <p>(2) よこはまウォーキングポイント歩数計アプリを活用した集客支援 商店街をPRし集客を支援するため、「よこはまウォーキングポイント事業」と連携し、歩数計アプリを活用した事業を継続します。</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店（600千円） ハローよこはまの会場に設けられた商店街エリアに、区内商店街がブースを出店する支援を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中止となりました。</p> <p>(4) 商店街連携モデル事業 「商店街と子ども」をキーワードにその地域で成長していく子どもたちが街の商店街に愛着を持つような仕組みをつくるため、区・学校・地域が連携した「小学校の商店街お仕事体験」を実施します。</p> <p>&lt;参考&gt;（経済局区配付予算） ・商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。</p>
予算額	1,500千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業展開していきます。また、ラグビーワールドカップ2019™を契機としたラグビー教室の開催や、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (2,080千円)</p> <p>ア 区体育協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区体協へ事業費を補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 (ア) ラジオ体操普及事業 (イ) 中区ランニングクリニック事業 (3年1月～3月)</p> <p>ウ 大規模スポーツイベントを契機とした関連事業 ・ラグビーワールドカップ：小学生ラグビー教室の開催 ・オリパラ：スタンプラリーイベントの実施 <u>(中止)</u></p> <p>(2) 青少年育成事業 (822千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ <u>(中止)</u> 小学生フットサル大会 (3年3月ほか)</p> <p>(3) ウォークラリー推進事業 (445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体 (青少年指導員・スポーツ推進委員) が主体となり開催 <u>(中止)</u></p> <p>(4) 中区ジュニアダンスステージ事業 (1,350千円) 青少年が仲間とともに日頃の練習成果を披露する、オールジャンルのダンスイベントを実施 <u>(中止)</u></p> <p>&lt;参考&gt; 市民局区配付予算 (東京2020大会 500千円) ・オリンピックによるキッズベースボールクリニックの実施 <u>(中止)</u></p>
予算額	4,697千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進するとともに、横浜市民読書活動推進目標更新に伴い、中区読書活動推進目標の更新を検討します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業 (区民活動センター) (2,165千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 区民利用施設ヒアリングの実施 (7月)、団体支援講座 (8月)、区民利用施設PR事業「キーワード探し」 (11月)、なかく活動ガイド及びダイジェスト版の発行 (3年3月)、センター祭り <u>(中止)</u> に代わる作品展 (10月31日～11月1日)、街の先生活用事業、登録団体との共催講座等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行 (隔月発行) 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援 (月2回)</p> <p>(2) 生涯学習事業 (220千円) 地域課題解決のための地域で活躍する人材育成講座「風おこせプロジェクト」、中区街歩き講座「中区タウンピクニック」等の実施 保育ボランティア育成講座</p> <p>(3) 読書活動推進事業 (267千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会 (年2回) 及び「なか区ブックフェスタ」の開催 (10月～11月予定)</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展 <u>(中止)</u> 読書関連イベントの開催 (11月)</p> <p>(4) その他 (130千円) 文化活動支援事業として特別協力・共催・後援事業の支援</p>
予算額	2,782千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組んでいきます。</p> <p>(1) 三塔の日イベント開催 (1,000千円) 横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館(ジャック)、横浜税関(クイーン)、神奈川県庁(キング)で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等を開催します。 (3年3月7日(日)予定)</p> <p>(2) 見学者向けリーフレットの作成 (300千円) 施設見学者向けに多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)のリーフレットを改訂し、配布します。</p> <p>(3) 開港記念会館の運営等 (460千円) 開港記念会館の運営に係る庁内備品費ほか。</p> <p>&lt;参考&gt; (市民局予算) ・開港記念会館保存活用検討事業 中区の公会堂であり、本市の貴重な文化・観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し施設の魅力向上を図るため、保存改修工事の実施設計を行います。</p>
予算額	1,760千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
8. ハローよこはま 2020		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表機会の充実」を目的に開催している、中区民祭り「ハローよこはま」ですが、「ハローよこはま2020」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者、出店者・出演者等の健康と安全を最優先に考え、6月のハローよこはま実行委員会総会での書面表決による承諾を得たうえで、中止することに決定しました。</p> <p>(1) 開催中止の決定について</p> <p>ア 6月1日 実行委員会第1回総会開催通知(依頼) 開催中止についての書面表決依頼</p> <p>イ 6月18日 書面表決の結果について(報告) 委員に結果(開催中止)を通知 ※委員全43名(委員長を除く)中、42名が中止決定に「異議なし」 (残る1名は未回答)</p> <p>ウ 7月16日 出店(94団体)・協賛(75団体)団体に開催中止について通知 ※ハローよこはま2019申込団体</p> <p>※ご協力をいただいている他の協力団体等にも開催中止の旨を連絡</p>
予算額	2,925千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
9. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市(644千円)：友好交流協定(平成26年3月締結) 飯能市・横浜市中区友好交流協議会を発足し、両市の鉄道会社・商工会議所を含めた6団体にて、イベント交流事業等での相互PR・誘客に取り組んでいます。 昨年に引き続きダイナミック周年事業として、飯能市の方を対象とした中区へのツアーを11月に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、<u>来年度に延期</u>となりました。</p> <p>(2) 群馬県嬭恋村(155千円)：友好交流協定(平成28年2月締結) 嬭恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結しました。 2年は、中居屋重兵衛氏生誕200年のため、つまごい祭り(7月)、ハローよこはま(10月)等を活用した相互PRや広報によるプロモーションに取り組む予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントは当面開催<u>中止</u>となっています。</p> <p>(3) 岩手県釜石市(80千円)：友好交流協定(平成26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き状況に応じた支援を実施します。</p> <p>(4) 仁川広域市中区(121千円)：友好交流協定(平成22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。</p>
予算額	1,000千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

## 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1. 人材育成推進事業		<p>市民の視点に立った行政サービスの提供を行うため、職員の区民サービスへの意識向上を図ります。</p> <p>(1) <b>CS・ES向上事業 (420千円)</b>            各課長をリーダーに、係長、職員がサブリーダーとなり職場内でCS向上の取組を推進するとともに、職員参加型プロジェクトの実施や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上(ES向上)を目指します。            ア CS向上事業 サブリーダー研修(8月6日、8月20日)            外国語サポーター(8名、4か国語対応)            イ ES向上事業 プロジェクト募集(5月11日)            メンバー募集(5月19日) 中間報告(10月)            最終報告(3年2月)            7プロジェクト、77人活動</p> <p>(2) <b>人権啓発事業 (580千円)</b>            人権が尊重される社会を目指し、区民や区内企業を対象にした人権啓発講演会を開催します。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施します。            ア 中区人権啓発講演会の開催(3年2月25日実施予定)            テーマ「発達障害を告白して(仮題)」講師：落語家 柳家花緑氏            会場 横浜市開港記念会館 講堂            イ 人権啓発研修の実施(5月～3年1月実施予定)</p>
予算額	1,000千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2. 利用しやすい区役所づくり事業		<p>区庁舎の利用者環境の改善を図ります。あわせて、庁舎を安心して利用できるよう警備や案内を行うスタッフを配置します。また、魅力的な区庁舎づくりに取り組みます。</p> <p>(1) <b>利用者環境等の改善 (4,394千円)</b>            警備・案内の業務委託及び庁舎環境改善を実施します。            ア 警備等業務委託            総合案内スタッフと連携して警備や案内を行います。            イ 庁舎改善委託等            2階へのスポットクーラー(7月～9月)</p> <p>(2) <b>シビックプライドの持てる区庁舎づくり (10,791千円) 【拡充】</b>            地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与し、街のランドマークとして区民が親しみや誇りを持てる魅力的な区庁舎づくりのための改修を実施します。            ア 庁舎改修工事(本館エントランス・外構等改修 工期5月～12月予定)            イ 庁舎改修工事に伴う備品設置等</p> <p>&lt;参考&gt; (市民局区配付予算)            ・庁舎改修工事については、公益用地活用メリットシステムに伴う予算配分(64,113千円)をあわせて活用します。            &lt;その他&gt; (道路局事業)            ・工事後の区役所前歩道は、民間事業者が道路占用により整備及び管理運営する新たな駐輪場として整備されました。(8月開設)</p>
予算額	15,185千円	
所管課	総務課	

事業名	事業内容
<b>3. 広報・案内事業</b>	<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、元年度に引き続き、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。</p> <p><b>(1) 広報相談事業 (3,462千円) 【拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 区民生活マップ（日本語版）のデザイン委託及び印刷（30,000部） （中国語版の増刷は3年度へ対応を見送る予定）</li> <li>イ 区ホームページ及びツイッターによる情報等の発信 （新型コロナウイルス関係情報、その他イベント情報等）</li> <li>ウ マスコットキャラクター「スウィンギー」によるプロモーション活動</li> <li>エ 庁内職員のための広報研修実施</li> <li>オ 「市民からの提案」等の広聴対応</li> <li>カ 町内会、その他団体からの要望（陳情）対応</li> </ul> <p><b>(2) 総合案内運営事業 (3,427千円)</b></p> <p>1階総合案内受付業務について、案内業務に専従するスタッフを配置し、窓口案内サービスを行います。</p>
予算額	6,889千円
所管課	区政推進課

## 議題 4

### 令和 3 年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方

令和 2 年度中区運営方針においては、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～」を基本目標に、目標達成に向けた 5 つの施策に沿って各事業に取り組んでいます。

令和 3 年度予算についても、この運営方針の考え方を基本に編成します。とりわけ、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、区民の安全・安心の確保と地域経済の活性化に重点的に取り組み、多文化共生や第 4 期中区地域福祉保健計画の策定・推進、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成にもしっかりと取り組む予算とします。

なお、事業の推進においては、SDGs の視点を踏まえて取り組みます。

- 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり  
( 「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業 )
- 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり  
( 「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業 )
- 3 多文化共生のまちづくり  
( 「多文化」等 関連事業 )
- 4 地域の活力があふれるまちづくり  
( 「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業 )
- 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり  
( 「区民サービス向上」「広報」等 関連事業 )

# 令和元年度 自主企画事業費決算状況

別紙 1

(単位:千円)

予算区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)
自主企画事業費	100,794	90,383	10,411

## 1. 100万円以上の不用がある事業 (4 事業)

計 9,141千円

- ・ 地域防災力向上事業 (3 ページ、2,121千円)  
デジタル簡易無線の導入見直し及びマリンFM関連経費の残
- ・ みんなで子育て事業 (9 ページ、1,038千円)  
おでかけスポットマップの作成経費の残及びグランマ保育園事業の一部休止による残
- ・ 自治会町内会活動支援事業 (13ページ、3,000千円)  
地区情報カルテの入札不調による残及び自治会町内会感謝会中止による残
- ・ 広報・案内事業 (18ページ、2,982千円)  
総合案内派遣委託の入札残

## 2. 不用となった理由による分類

### (1) 入札残によるもの (2 事業)

入札を行ったことによる経費の残

- ・ 自治会町内会活動支援事業 ※再掲 ・ 広報・案内事業 ※再掲

### (2) 台風19号の影響によるもの (4 事業)

ハローよこはまが中止となったことに伴い、各事業で計上していた関連経費の残

- ・ 商店街魅力アップ事業 ・ スポーツ・青少年事業 ・ みんなで子育て事業
- ・ 健康アシスト事業

### (3) 新型コロナウイルス感染症の影響によるもの (10事業)

新型コロナウイルス感染症対策のために、「横浜三塔の日」をはじめ、2月から3月に開催を予定していた各種イベントや講座等が中止になったことによる残

- ・ 安全なまち・防犯対策推進事業 ・ 自治会町内会活動支援事業 ※再掲
- ・ 区民活動支援事業 ・ 開港記念会館事業 ・ みんなで子育て事業 ※再掲 ほか5事業

## 令和2年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）現年度見直しについて

現年度事業見直し実施方針に基づき、全事業を対象に事業点検を実施しました。  
見直しの結果、削減した事業費を活用して新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応等を実施します。

(千円)

自主企画事業費総額	100,764
見直し金額	△ 8,925
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	8,319

## 主な見直し内容

△ 8,925

## 新型コロナによるイベントや講演会の中止等（12事業）

- ・ハローよこはまの中止（ハローよこはま2020事業ほか）
- ・スポーツ関連イベントの中止（スポーツ・青少年事業ほか）
- ・中なかいいネ！第4期計画策定スケジュールの変更（中なかいいネ！中区地域保健計画推進事業）
- ・埼玉県飯能市との交流におけるダイナミック周年事業の中止（都市間交流事業） ほか

## 新型コロナウイルス感染症対策等への活用

8,319

## 1. 消毒液、非接触温度計等の購入や感染対策経費

1,297

- ・区庁舎内における感染症予防対策、事業実施にかかる感染症防止対策物品の購入
- ・地域防災拠点に新型コロナウイルス対策用物品を配備

## 2. コロナ禍における事業展開に係る費用 ※1、3を除く

870

- ・イベントや講演会等の代替実施
- ・コロナ禍における商店街活性化事業の実施

## 3. 新しい生活様式を踏まえた環境整備

5,500

- ・区庁舎内の密を改善するためのレイアウト変更調査
- ・区庁舎内の環境向上のための空調機更新

## 4. 新型コロナウイルス感染症対策関連情報の広報に係る費用

652

- ・食品関係事業者等向け感染防止対策啓発チラシの作成
- ・タウンニュース中区・西区版へ感染拡大防止に関する注意喚起記事掲載

※項目については、8月15日現在の集計によるものです。